

平成 30 年第 3 回定例会

富良野市議会会議録（第 4 号）

平成 30 年 9 月 26 日（水曜日）

平成 30 第 3 回定例会

富 良 野 市 議 会 会 議 録

平成 30 年 9 月 26 日 (水曜日) 午前 10 時 00 分開議

議事日程 (第 4 号)

- 日程第 1 議案第 1 号 平成 30 年度富良野市一般会計補正予算 (第 5 号)  
議案第 4 号 富良野市財政調整基金の処分について
- 日程第 2 議案第 2 号 平成 30 年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 3 議案第 3 号 平成 30 年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 4 議案第 5 号 富良野市議会議員及び富良野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- 日程第 5 議案第 6 号 富良野市税条例等の一部改正について
- 日程第 6 議案第 7 号 富良野市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議案第 8 号 富良野市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正について
- 日程第 8 議案第 9 号 富良野市水道事業給水条例の一部改正について
- 日程第 9 議案第 13 号 平成 30 年度富良野市一般会計補正予算 (第 6 号)
- 日程第 10 議案第 14 号 議員の派遣について
- 日程第 11 議員の派遣について
- 日程第 12 意見案第 1 号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 日程第 13 意見案第 2 号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
- 日程第 14 意見案第 3 号 「30 人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1 / 2 の復元、「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書
- 日程第 15 閉会中の所管事務調査について  
閉会中の都市事例調査について

出席議員 (18 名)

議 長	18 番	日 里 雅 至 君	副議長	17 番	天 日 公 子 君
	1 番	関 野 常 勝 君		2 番	小 林 裕 幸 君
	3 番	谷 口 正 也 君		4 番	佐 藤 秀 靖 君
	5 番	大 西 三 奈 子 君		6 番	黒 岩 岳 雄 君
	7 番	後 藤 英 知 夫 君		8 番	水 間 健 太 君
	9 番	本 間 敏 行 君		10 番	大 栗 民 江 君
	11 番	宇 治 則 幸 君		12 番	石 上 孝 雄 君
	13 番	萩 原 弘 之 君		14 番	岡 野 孝 則 君
	15 番	今 利 一 君		16 番	岡 本 俊 君

欠席議員 (0 名)

説明員

市長	北 猛 俊 君	副市長	石 井 隆 君
総務部長	稲 葉 武 則 君	市民生活部長	山 下 俊 明 君
保健福祉部長	若 杉 勝 博 君	経済部長	後 藤 正 紀 君
ぶどう果樹研究所長	川 上 勝 義 君	建設水道部長	吉 田 育 夫 君
看護専門学校長	澤 田 貴美子 君	総務課長	今 井 顕 一 君
財政課長	藤 野 秀 光 君	企画振興課長	西 野 成 紀 君
教育委員会教育長	近 内 栄 一 君	教育委員会教育部長	亀 淵 雅 彦 君
農業委員会会長	及 川 栄 樹 君	農業委員会事務局長	井 口 聡 君
監査委員	宇佐見 正 光 君	監査委員事務局長	佐 藤 克 久 君
公平委員会委員長	中 島 英 明 君	公平委員会事務局長	佐 藤 克 久 君
選挙管理委員会委員長	伊 藤 和 朗 君	選挙管理委員会事務局長	大 内 康 宏 君

事務局出席職員

事務局 長	川 崎 隆 一 君	書 記	高 田 賢 司 君
書 記	佐 藤 知 江 君	書 記	倉 本 隆 司 君

午前10時00分 開議  
(出席議員数18名)

## 開 議 宣 告

議長(日里雅至君) これより、本日の会議を開きます。

## 会議録署名議員の指名

議長(日里雅至君) 本日の会議録署名議員には、  
小 林 裕 幸 君  
岡 本 俊 君  
を御指名申し上げます。

## 諸 般 の 報 告

議長(日里雅至君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長川崎隆一君。

事務局長(川崎隆一君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

今定例会の追加案件につきましては、市長側提出の事件、議案第13号1件であり、お手元に御配付のとおりでございます。

議会側提出の事件は、議員の派遣2件、意見案3件、所管事務調査及び都市事例調査の申し出につきましては、本日御配付の議会側提出件名表ナンバー2に記載のとおりでございます。

以上でございます。

## 議会運営委員長報告

議長(日里雅至君) 本定例会の運営に関して、議会運営委員会より報告願います。

議会運営委員長黒岩岳雄君。

議会運営委員長(黒岩岳雄君) -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、9月20日に委員会を開催し、追加議案の取り扱いについて審議いたしましたので、その結果を報告いたします。

提出されました追加案件は、市長側提出案件が1件で、その内訳は、補正予算1件でございます。

議会側提出案件は8件で、その内訳は、議員の派遣2件、意見案3件、閉会中の事務調査2件、都市事例調査1件でございます。

いずれも、本日の日程の中で審議を願うことにしております。

以上、申し上げます、議会運営委員会からの報告を終わります。

議長(日里雅至君) お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり、本定例会を運営したいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

## 日程第1

議案第1号 平成30年度富良野市一般会計補正予算(第5号)

議案第4号 富良野市財政調整基金の処分について

議長(日里雅至君) 日程第1、議案第1号、平成30年度富良野市一般会計補正予算及びこれに関連する議案第4号、富良野市財政調整基金の処分について、以上2件を一括して議題といたします。

初めに、議案第4号、富良野市財政調整基金の処分についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で議案第4号の質疑を終わります。

次に、議案第1号、平成30年度富良野市一般会計補正予算の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書18ページ、19ページをお開きください。

2款総務費、3款民生費まで、18ページより22ページ、23ページの上段まで行います。

質疑ございませんか。

15番今利一君。

15番(今利一君) それでは、お尋ねいたします。

19ページ、2款1項7目の105番、富良野道路開通記念行事実行委員会交付金ですが、182万5,000円ほどありますけれども、この事業の内容についてお尋ねいたします。

議長(日里雅至君) 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長(稲葉武則君) 今議員の御質問にお答えします。

2款総務費1項総務管理費7目自治振興費の富良野道路開通記念行事実行委員会交付金の182万5,000円についてでございます。

この実行委員会につきましては、地域高規格道路「旭川十勝道路」の富良野道路8.3キロの開通記念行事を行う

ということで、実行委員会に対して交付を行うものがございます。

今回、補正で計上させていただきました182万5,000円につきましては、一つは、開通日当日に予定しているウォーキング大会の経費を考えてございます。大体200人規模で、開通前の道路を市民の皆様方に歩いていただきたいということを考えてございます。それに対して、参加者への記念品、また昼食、あわせて、参加者を1カ所に集めて会場まで連れていく送迎用のバスが約50万円くらいでございますので、ウォーキングイベントとしましては116万円くらいを計上させていただいております。

もう一つは、開通式当日の祝賀会を考えてございます。こちらにつきましては、開通式なり通り初め式は事業主体である北海道開発局が実施するものですが、祝賀会の出席者への記念品と軽食ということで計上させていただいております。それが約37万円くらい、さらに、開通記念、開通しますという看板の作成で約25万円、祝賀会費用としては合わせて66万5,000円を計上してございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問でございますか。

15番今利一君。

15番（今利一君） いま、ウォーキングイベントで200人とおっしゃいましたけれども、これは、いつ行うことを予定しているのか、どんな形で市民に周知されるのか、どんな人選で行われるのか、お尋ねいたします。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 今議員の再質問にお答えいたします。

まず、ウォーキングイベントにつきましては、現状では開通日がまだ決定してございませんが、開通日当日ということで考えてございます。開通日を決定していただきまして、それに合わせてということですが、予定ではおおむね3週間から4週間前にはわかるというふうに聞いていますので、その段階で新聞の折り込みにあわせて、市のホームページで市民の皆様方に参加要請の周知をさせていただきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

16番岡本俊君。

16番（岡本俊君） 同じページですが、2款1項16目の100番、地域防災事業費の事業内容についてお伺いしたいと思います。

防災ガイドマップということで、富良野は大きく富良野、山部、東山、麓郷に分かれておりますが、地帯別の

防災の形もとられているのか、全体の中身について御説明願いたいと思います。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 岡本議員の御質問にお答えいたします。

2款総務費1項総務管理費16目防災諸費の100番、地域防災事業費の防災ガイドマップ作成委託料の213万3,000円の関係でございます。

こちらにつきましては、現在、平成26年9月に防災ガイドマップを作成いたしました。既に4年がたっていることと、現在のところは在庫がございませんので、その更新を考えてございます。あわせて、平成26年度につくりました防災ガイドマップにつきましては、当時の規格で、国の河川については100年に一度、道の河川については50年に一度の浸水想定区域を掲載しておりますが、今回、改めて、国の空知川の関係、また、道河川については100年に一度という浸水想定区域が公表されましたので、それを反映させていただきたいというふうに考えてございます。また、このガイドマップは、既存のものを更新する形で考えておまして、カラー判で24ページ、1万2,000部を印刷、製本したいと考えてございます。

いま御質問いただきました地図関係につきましては、既存のガイドマップにもありますが、各地区ごとに避難場所等とあわせて浸水想定区域を記載しておりますので、これと同様の形で作成したいというふうに考えてございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問でございますか。

16番岡本俊君。

16番（岡本俊君） 地域別にということでありました。防災に関しては、現在、保健センターや駅のところに空知川が決壊したら水位が何センチという表示がありますが、今回は100年に1度ということもあります。そういうことからすると、万が一のことも含めてトータルで変えていかなければならない場面が出るのではないかと想定されますし、同時にその箇所もふやしていくとか、その辺の考えはいかがでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 岡本議員の再質問にお答えいたします。

いま質問いただきました避難所関係につきましては、100年に1度となるとかなり大規模になりますので、垂直避難ということも頭に入れ、今後、改めて、市の防災会議で協議をさせていただきながら、避難所の見直しについても反映させていきたいと考えているところでござ

います。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」「関連」と呼ぶ者あり）

7番後藤英知夫君。

7番（後藤英知夫君） いまの2款1項16目の防災諸費の中のガイドマップについてです。

中身についてはる説明がありましたが、一昨年だったか、総務文教委員会の中で防災の事務調査のときに、いまの冊子のようなものをつくるのもいいですけども、例えば、冷蔵庫や壁に張っておくような1枚物で、皆さんが常に確認できるようなわかりやすいものをつくってはどうかというような提言もさせていただいていると思います。

それについてはどのようにお考えでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 後藤議員の御質問にお答えいたします。

私どもが今回の予算に計上させていただいた防災ガイドマップは、一つの冊子という形になりますが、いまおっしゃるような地図みたいな形については、データがあれば別途対応できると考えておりますので、別な観点で進めたいというふうにご考えてございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

4番佐藤秀靖君。

4番（佐藤秀靖君） いまの防災マップの関連です。

この防災マップについては、私も一般質問させていただいたこともあります。私が市民から聞いている部分で言うと、冊子になっているので、どこにしまい込んだかわからないという方が非常に多いのです。大事だろうと思っているからこそ、とってはあっても、いざとなったらどこに行ったかわからないということなので、いま後藤議員が提案されたようにダイジェスト版をつくるべきだと思います。別途、検討ということではありますが、初動を含めて、冊子ではなく、例えば冷蔵庫等々の簡単に見えるところに張っていただけるようなダイジェスト版をぜひ早急につくるべきだと思います。

これは、今回、予算計上されないのであれば、来年度の当初予算で予算化するべきだと思いますが、いかがでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

いまの御質問は、来年度の当初予算に計上すべきだというような趣旨だと思いますけれども、先ほども後藤議員の御質問にお答えさせていただきましたが、まずはマップをつくることによってデータができてくると考えてございますので、それを反映して1枚物にできるような形を進めたいというふうにご考えてございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

10番大栗民江君。

10番（大栗民江君） 同じく関連であります。例えば視力が弱い方とか、福祉的な援護が必要な方へのガイドマップというのはどのような形になっているのでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 大栗議員の御質問にお答えいたします。

視力が弱い方への対応だと思いますけれども、この予算上ではその部分については計上されていません。

ただ、先ほど申しましたように、データなども含めて出てきますので、字を大きくするとか、いろいろな対応は私どものほうでできると考えていますので、そちらのほうで対応させていただくことになると思います。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、次に移ります。

4款衛生費、6款農林業費、7款商工費、9款教育費、11款給与費まで、22ページ、23ページ中段より30ページまでを行います。

質疑ございませんか。

12番石上孝雄君。

12番（石上孝雄君） 22ページ、23ページ、4款衛生費1項6目の115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費ですけども、ごみの減量、環境に十分寄与していると思います。それから、下の欄になりますが、4款2項3目の110番、埋立処分場維持管理経費の減額補正にかなり寄与していると思います。しかし、昨年の火事だとか、やはり思わぬ事故がありますので、もうちょっと計画性を持って進めるべきと考えますが、いかがでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

市民生活部長山下俊明君。

市民生活部長（山下俊明君） たいいまの石上議員の質問にお答えいたします。

4款衛生費 1項保健衛生費 6目環境保全費の115番、固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費についてであります。全体的に計画性を持ってということでございます。

固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業費につきましては、議員の御指摘のとおり、ハイランドふらには、平成29年6月に導入し、試験運転を重ねてきました。昨年9月の議会でも、バグフィルターの事故ということで補正予算を計上させていただいておりますし、この間、試運転と言いつつも、いろいろな事故が起きて、その都度、補正予算を計上させていただいて対応してきたところでございます。

固形燃料ボイラー熱供給設備使用事業につきましては、議会でも再三御説明させていただいておりますように、地産地消というのでしょうか、富良野のごみを固形燃料にして地域内で循環する熱供給事業に変え、将来的にはこれを確立して地域内でさらに循環させていくという大きな目的を持って導入しているわけですが、事故が起きております。今回、24時間運転を目指して昨年12月から試運転を開始してはありますが、その中でもいろいろな問題点や改善点がございましたので、それを含めて、道の補助事業も活用しながら大幅な改修工事ということでまた予算計上しております。計画に際しましては、道や道総研ともいろいろと協議を重ねながら今回の予算計上に至っておりますし、今回の工事によって改良が進めば、いままで出てきた問題点は全て改善されるというふうに見込んでいるところでございます。

いままでは計画性がなさ過ぎたという御指摘かと思えますけれども、今後は、今回予算計上した工事による改善をもちまして、完成が来年2月以降となりますが、その時点でとりあえずは一定の事業が軌道に乗るものと考えているところでございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

4番佐藤秀靖君。

4番（佐藤秀靖君） いまの固形燃料ボイラーの関連で質問させていただきます。

いままで、さまざまな試験を行うなど、試運転中ということでございました。いまの部長の御答弁ですと、今回の補正予算において、一通りの問題検証がなされて完成に至るということだったかと思いますが、市民の皆さんからは心配されている声が相当聞かれます。私も、何人かの皆さんに、本当に大丈夫なのかということをお聞かれています。

いままで試運転ということでお話をさせていただき

ましたが、今回で完成と捉えてよろしいでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

市民生活部長山下俊明君。

市民生活部長（山下俊明君） 佐藤議員の御質問にお答えいたします。

款項目が同じですので、割愛させていただきますが、今回の工事で完成なのかという御質問になろうかと思えます。

先ほど答弁したように、ハイランドふらの、また、今回は生涯学習センターの分も計上しておりますが、日々の運転の中での問題点、改善点を現時点で全て洗い出した上での今回の事業化、計画となっております。当然、その計画をもって道の補助申請の協議もさせていただいておりますので、ハイランドふらの、生涯学習センターについては、今回の工事をもって設備的には完成すると捉えているところであります。

ただ、冒頭でも説明させていただきましたように、この事業の目的というところでいきますと、設備等の改修だけではなくて、将来的に富良野市の資源を富良野市で使うということが最終目的なので、完成というのはその目的の達成によってということになろうかと思えます。そのために富良野市民の皆さんの税金を使って事業を行っているわけですから、その目的が達成できるように取り組んでいきたいと思えます。

そういう中で、今回の設備ということに関しましては、現時点で言える問題点は全て解消できると考えて予算を計上しているところでございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

7番後藤英知夫君。

7番（後藤英知夫君） 24ページ、25ページ、6款1項3目農業振興費の460番、農業次世代人材投資事業費の398万1,000円です。

これは、新規就農された方が十分に所得を得られなかった場合、国から補填されるお金がありますけれども、それをちょっと払い過ぎてしまったので返還するお金だという説明を受けています。二人が対象者みたいで、一人は約250万円、もう一人は150万円ということになります。

今回の予算の中では、言葉はちょっと適切ではないかもしれませんが、これは一般財源で市が立てかえという形になるかと思いますが、そうすると、この二人からはどのような形でお金を回収するのか、返還していただくのか、そのような計画についてはどのように考えておられるのか、質問したいと思います。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の御質問にお答えいたします。

6款1項3目の460番、農業次世代人材投資事業費でございますが、こちらにつきましては、市のほうで確認を行った後、道を通して国のほうに申請した上で交付されているものでございますので、国のお金でございますから、まずは市のほうで返還手続をするための今回の補正でございます。

こちらはお二人とおっしゃいましたが、本人とのこれからの話し合いにつきましては、それぞれの経営状況もございますし、慎重に協議しながら、今後、担当を含めてお二人の対象者と交渉を進めてまいりたいと思っております。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

7番後藤英知夫君。

7番（後藤英知夫君） いま、これからというお話がありました。

自分としては、すごく大きな金額だなというふうに感じています。ましてや、新規就農の方が一度得たお金の中で250万円、150万円をそれぞれ返すということは大変なことだと考えております。

内容を十分に理解できないでこういう形になってしまったということでありませけれども、こういうことは、これからは未然に防いでいかなければならないと考えています。それらについてはどのように考えておられるでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の再質問にお答えいたします。

今回、市のほうで確認作業を行う段階で、途中、平成27年に要綱等の一部改正がございまして、その読み方や順番等を間違えて行ったものでございます。これからは、こういうものにつきましては、もちろん精査するとともに、複数体制でのチェックも十分に検討しながら、誤りのないように二重、三重のチェックの中で進めてまいりたいと思っております。

以上です。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

7番後藤英知夫君。

7番（後藤英知夫君） 質問というか、要請というか、先ほども言いましたように、新規就農の方が一度得たお金の中で250万円、150万円を返していくことは本当に大変なことだと自分は考えています。今後、どういう形で回収していくのかに関しては、このお二人と話し合いをしながら、十分な検討を進めながら配慮していただきたいと思いますけれども、それについてはどのようにお

考えでしょうか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

経済部長後藤正紀君。

経済部長（後藤正紀君） 後藤議員の再々質問にお答えいたします。

最初に丁寧に対応していくと申し上げましたが、いまおっしゃいましたように、新規就農あるいは継承したばかりということなので、経済的な状況等も十分把握しながら真摯にお話し合いをしてまいりたいと思います。

以上です。

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

2番小林裕幸君。

2番（小林裕幸君） 4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費の150番、医師養成確保修学資金貸付金について、補正で出てきているということですので、確認ですが、人数制限があったのかどうかと、この中身についてお伺いいたします。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

保健福祉部長若杉勝博君。

保健福祉部長（若杉勝博君） 小林議員の御質問にお答えいたします。

23ページ、1目保健衛生総務費の150番、医師養成確保修学資金貸付金60万円の補正でございます。

この関係は、当初予算では6名の予算として360万円を持っておりました。今回、この夏に医大生が富良野に実習に来られまして、そのうち2名から、そうした制度があるのであれば活用したいというふうなことがあり、当初の6名に加えまして、2名の補正ということで60万円の補正でございます。

人数制限という部分については、1学年当たり2名ということで総体12名と考えておりますが、今年度においては、いま現在、今回の補正で8名になります。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、以上で歳出を終わります。

次に、歳入及び第2条債務負担行為の補正、第3条地方債の補正を行います。

6ページ、7ページ及び12ページから17ページまでを行います。

質疑ございませんか。

12番石上孝雄君。

12番（石上孝雄君） 12ページ、13ページです。

11款の地方交付税が随分減額されておりますけれども、こういった内容になっているのでしょうか。



議長（日里雅至君） 御答弁願います。

総務部長稲葉武則君。

総務部長（稲葉武則君） 石上議員の御質問にお答えします。

歳入の11款地方交付税1項地方交付税で、今回計上した7,061万7,000円の減額の理由だと思います。

地方交付税につきましては、当初予算と6月のものを合わせて43億8,873万4,000円と見込んで予算化させていただいておりましたが、43億1,811万7,000円と交付決定が来てございます。今回、この差額の7,061万7,000円を減額させていただいておりますが、この理由につきましては、基準財政需要額が見込みより3,359万1,000円ほど過大に見積もっていたこととあわせて、基準財政収入額は3,702万6,000円の過小で積算していたということでございます。先ほど申しました基準財政需要額の減の主な要因としましては、私立幼稚園や保育所の入所子供数、生活保護の生活扶助に係る年間延べ人数が当初の積算より若干少なかったこと、あわせて、基準財政収入額につきましては、市税及び自動車関連の税金の伸びが大きかったことが要因だと思っております。

この予算の積算に当たりましては、単位費用や補正係数の見込みなど総務省の動向等を見きわめてやっておりましたが、さらに情報収集に努めながら精度を高めていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

12番石上孝雄君。

12番（石上孝雄君） いまの答えですが、生活保護者というのは浮き沈みがあって当然なのかなと思いますけれども、保育所の人数というのはある程度の数をつかめるのではなからうかと思うのです。

保育所に入る人数というのはどれぐらいとつかんで、現在はどれぐらいだったのですか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

財政課長藤野秀光君。

財政課長（藤野秀光君） 石上議員の再質問にお答えさせていただきます。

当初予算で見込んでおりました保育所人数から実際の交付税算定に用いた人数への減額についてですが、予算化をするときは、年明けの1月下旬ぐらいまでは総務省の情報を得ながら数字を算定しておりますけれども、4月に入りまして入所人員が確定した際、私立幼稚園の人数や保育所の人数が予定より各10人ほどずつ減っております。

以上です。

議長（日里雅至君） 再質問ございますか。

12番石上孝雄君。

12番（石上孝雄君） 確認ですけれども、現在は何人が入っていて、12名減なのですか。

議長（日里雅至君） 御答弁願います。

財政課長藤野秀光君。

財政課長（藤野秀光君） 失礼いたしました。

算定に用いられました保育所の人数が114名、私立幼稚園の人数が346名です。予算化したときは、これより10人ずつぐらい多い算定になっております。

議長（日里雅至君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、以上で本件の質疑を終了いたします。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件2件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件2件は、原案のとおり可決されました。

## 日程第2

### 議案第2号 平成30年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議長（日里雅至君） 日程第2、議案第2号、平成30年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

## 日程第3

### 議案第3号 平成30年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議長（日里雅至君） 日程第3、議案第3号、平成30年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第4

議案第5号 富良野市議会議員及び富良野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

議長(日里雅至君) 日程第4、議案第5号、富良野市議会議員及び富良野市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第5

議案第6号 富良野市税条例等の一部改正について

議長(日里雅至君) 日程第5、議案第6号、富良野市税条例等の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第6

議案第7号 富良野市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について

議長(日里雅至君) 日程第6、議案第7号、富良野市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第7

議案第8号 富良野市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正について

議長(日里雅至君) 日程第7、議案第8号、富良野市公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第8

議案第9号 富良野市水道事業給水条例の一部改正について

議長(日里雅至君) 日程第8、議案第9号、富良野市水道事業給水条例の一部改正についてを議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第9

議案第13号 平成30年度富良野市一般会計補正予算(第6号)

議長(日里雅至君) 日程第9、議案第13号、平成30年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

副市長(石井隆君) -登壇-

おはようございます。

議案第13号、平成30年度富良野市一般会計補正予算について御説明申し上げます。

このたび提案いたしました富良野市一般会計補正予算第6号は、歳入歳出それぞれ191万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を123億7,102万5,000円にしようとするものでございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

6ページ、7ページの下段でございます。

13款災害復旧費は、2項文教施設災害復旧費で、去る9月4日夜遅くから5日朝にかけて北海道付近を通過した台風21号の影響による風により、生涯学習センター多目的アリーナの屋根の一部が損壊したため、修繕を行うもので、施設修繕料191万2,000円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

同じく、6ページ、7ページの上段でございます。

21款諸収入5項雑入で、備荒資金組合交付金191万2,000円の追加でございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

議長(日里雅至君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第10

議案第14号 議員の派遣について

議長(日里雅至君) 日程第10、議案第14号、議員の派遣についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

6番黒岩岳雄君。

6番(黒岩岳雄君) -登壇-

議案第14号、議員の派遣について、提案の理由を申し上げます。

本件は、石上孝雄君外5名の御賛同をいただき提出するものであり、議員研修及び議会報告会を実施するため、地方自治法第100条第13項及び富良野市議会会議規則第128条の規定に基づき、議員を派遣しようとするものです。

派遣の目的、場所、期間及び派遣する議員については、記載のとおりであります。

なお、そのほか、事情により変更が生じる場合には、議長に一任いたします。

以上、議員各位の御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

議長(日里雅至君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第11 議員の派遣について

議長(日里雅至君) 日程第11、議員の派遣についてを議題といたします。

議員の派遣については、地方自治法第100条第13項及び富良野市議会会議規則第128条の規定に基づき、お手元に御配付のとおり、副議長を記載の各会議へ派遣するものでございます。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、お手元に御配付のとおり派遣することに決しました。

なお、本派遣に変更などが生じた際には、議長においてこれを処理したいと思いますので、御了承願います。

#### 日程第12

##### 意見案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

議長(日里雅至君) 日程第12、意見案第1号、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

11番宇治則幸君。

11番(宇治則幸君) -登壇-

意見案第1号、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書は、地方自治法第112条及び富良野市議会会議規則第13条の規定により、水間健太議員外6名の賛同を得て提出するものであります。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書。

北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、植えて育てて、伐って使って、また植えるといった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用、所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このような中、北海道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林、間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される森林環境譲与税を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて、施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講じるよう強く要望する。

記。

1、森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山林における雇用の安定化を図るため、森

林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2、森林資源の循環利用を通じて、林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工、流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出するものであります。

議員各位の賛同をよろしくお願いいたします。

議長(日里雅至君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(日里雅至君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

#### 日程第13

##### 意見案第2号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

議長(日里雅至君) 日程第13、意見案第2号、学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

10番大栗民江君。

10番(大栗民江君) -登壇-

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書におきましては、佐藤秀靖議員外4名の議員の賛同を得て提出いたします。

本年6月18日午前7時58分に大阪北部で震度6弱を観測した地震では、児童を含む5名が亡くなり、400名以上が負傷した。特に、学校関係では、158名に及び児童生徒が重軽傷を負い、1,200を超える学校で、校舎などの天井、ガラス等の破損、壁のひび割れ、断水などの物的被害を受けた。中でも、学校施設のブロック塀が倒壊して下敷きになって児童が死亡したことは大変痛ましく、二度とこのようなことがあってはならない。

富良野市においても、学校施設の耐震化は進められているが、通学路などのブロック塀は盲点になっている可能性があり、同様の惨事が起こらないよう、早急な対策

を行うべきである。文部科学省は、6月19日に学校施設における塀の緊急点検を要請したが、学校施設の点検、安全性確保はもとより、児童生徒が利用する通学路についても速やかに点検した上で、安全性確保に向けて改善を図ることが必要である。

については、国が引き続き、通学路のブロック塀などの緊急点検と安全対策を行うことが重要であり、下記の事項について積極的な対応を求めるものである。

記といたしまして、一つ、今回被災した地域においては、二次被害も想定されることから、通学路のブロック塀などの総点検、調査を緊急に実施し、危険が認められる箇所については、通学路の変更や立入禁止などの措置を含めた対応を徹底すること。

二つ、全国の通学路も緊急総点検・調査を実施し、工事が必要な場合は、民間事業者とも連携しつつ速やかに実施し、地方自治体に対する技術的・財政的支援を行うこと。その際、一般家庭の塀であっても、倒壊の可能性があるなどの場合に支援できる制度を検討すること。また、国土交通省の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の効果促進事業の積極的な活用を図ること。

三つ、学校施設の安全対策に要する費用については、塀の修繕など小規模工事に対する補助制度、法定点検やそれに伴う修繕への補助制度の創設などを検討すること。その際、400万円と定められている文部科学省の公立学校施設の防災機能強化事業の補助対象事業の下限額について、広域での申請を認めるなど弾力的に運用すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

議員各位の賛同をいただけますよう、よろしく願いいたします。

議長（日里雅至君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

#### 日程第14

意見案第3号 「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2の復元、「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充

#### と就学保障に向けた意見書

議長（日里雅至君） 日程第14、意見案第3号、「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2の復元、「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

16番岡本俊君。

16番（岡本俊君） -登壇-

「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2の復元、「子どもの貧困解消」など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書は、水間議員外6名の賛同をいただき、提案するものでございます。

昨年のOECDの発表によると、2014年の日本のGDP比に占める教育機関への公的支出の割合は3.2%と、OECD平均4.4%を大きく下回り、比較可能な34カ国中、再び最下位となった。その一方で、子供1人当たりの教育支出における私費負担率は依然として高い水準にあるなど、日本の教育にかかわる公的支出の貧困さは明らかである。

また、昨年6月に厚生労働省が発表した2016年の国民生活基礎調査では、18歳未満の子供がいる世帯の子供の貧困率は13.9%、ひとり親世帯では50.8%と、前回調査から若干改善しているものの、依然として7人に1人の子供、また、ひとり親世帯では半数超がまだ貧困状態にあることが明らかになっている。

しかし、このような状況であるにもかかわらず、教育現場では、給食費、修学旅行費、テストやドリルなどを初めとする教材費などの私費負担も依然として減少せず、地方交付税措置されている教材費や図書費についても、自治体でその措置に差が生じている。

さらに、生活扶助費の切り下げによる就学援助制度の見直し、高校授業料無償化制度への所得制限、給付型奨学金が先行実施されたものの対象者が限定されていることから、いまだに教育ローンとも言える有利子の奨学金制度を利用せざるを得ない子供たちが返済に悩み苦しむなど、家庭、子供の貧困と格差は改善されず、経済的な理由で進学、就学を断念するなど、教育の機会均等は崩され、学習権を含む子供の人権が保障されない状況となっている。子供たちは、住む地域や環境に関係なく平等に教育を受ける権利を有している。その保障のためには、国による教育予算の確保と拡充が必要である。

これらのことから、国においては、義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率2分の1への復元など、以下の項目について、教育予算の確保・拡充、就学保障の充実を図るよう要望するものであります。

記として5点ございますが、御一読のほど、御賛同願

いまして、提案にかえさせていただきます。

議長（日里雅至君） これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

直ちに、関係機関に送付いたします。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（日里雅至君） 御異議なしと認めます。

よって、それぞれ申し出のとおり、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査を許可することに決しました。

## 閉 会 宣 告

議長（日里雅至君） 以上で、本日の日程を終わり、本定例会の案件は、全て終了いたしました。

これをもって、平成30年第3回富良野市議会定例会を閉会いたします。

午前11時05分 閉会

### 日程第15

閉会中の所管事務調査について

閉会中の都市事例調査について

議長（日里雅至君） 日程第15、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査についてを議題といたします。

本件について、各委員長よりの申し出を職員に朗読いたさせます。

庶務課長高田賢司君。

庶務課長（高田賢司君） -登壇-

市民福祉委員会、経済建設委員会の各委員長からの所管事務調査の申し出を朗読いたします。

事務調査申出書。

本委員会は、閉会中、下記の件について、継続調査を要するものと決定したので、申し出ます。

市民福祉委員会、調査番号、調査第5号、調査件名、環境施策について。

経済建設委員会、調査番号、調査第6号、調査件名、富良野市の労働力の実態と対策について。

次に、総務文教委員会委員長からの都市事例調査の申し出を朗読いたします。

都市事例調査申出書。

本委員会は、閉会中、下記により、都市事例調査を要するものと決定したので、申し出ます。

総務文教委員会、調査件名、乳幼児期からの一貫した特別支援教育について。

調査地、栃木県那須塩原市、千葉県南房総市、予定月日、10月下旬。

以上でございます。

議長（日里雅至君） お諮りいたします。

ただいま朗読報告のとおり、閉会中の所管事務調査及び都市事例調査について決定いたしたいと存じます。

これに御異議ございませんか。

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年 9月26日

議 長 日 里 雅 至

署名議員 小 林 裕 幸

署名議員 岡 本 俊